

A区分・B区分・C区分共通

No.1(実演芸術)

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいいしや ちゅら 株式会社CHURA	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	小杉奈津子		
制作団体所在地	〒 902-0076	最寄り駅(バス停)	寄宮中学校前
	沖縄県那覇市与儀368-13-1F		
電話番号	098-987-1327		
ふりがな 公演団体名	いっばんしゃだんほうじん おきなわかぶげきだん ちゅら 一般社団法人 沖縄歌舞劇団 美	団体ウェブサイトURL https://www.facebook.com/CHURAOKINAWAJAPAN/	
代表者職・氏名	小嶺和佳子		
公演団体所在地	〒 904-0031	最寄り駅(バス停)	
	沖縄県沖縄市上地2-14-19-2F		
制作団体 設立年月	2009年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 小杉奈津子 監査役 山田泰生	制作部2名、文芸部5名、舞台部20名 合計27名 加入条件:定期的に琉球舞踊界の中で公募し、オーディションにより選抜する。	
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者 を置く	本事業担当者名	小杉奈津子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	丸山 彰

制作団体沿革	株式会社CHURAは、2009年の設立以来、精力的に沖縄伝統芸能の発信を続け、日本全国での公演を展開するほか、海外公演も積極的に手掛けてまいりました。 現在まで、世界五大陸41カ国76都市での海外公演を実施。さらに、国際共同制作公演にも積極的に取り組み、近年では琉球舞踊とアフリカの伝統音楽とのコラボレーション公演も実現させました。また、国内においては、全国の小・中・高等学校での公演、及び一般公演などを精力的に行い、国指定重要無形文化財である琉球舞踊を中心に沖縄伝統芸能の普及と創作活動を続けています。 【近年海外実績】 文化庁・国際交流支援事業 2011年 クウェート中米ツアー（クウェート・アブダビ・ドバイ） 2012年 ロシアツアー（モスクワ・サンクトペテルブルク・トヴェリ・ヤロスラブリ・エレクトラスターリ） 2017年 メキシコ・中米公演（グアテマラ・メキシコ・キューバ・パナマ） アフリカ公演（エチオピア・タンザニア・エジプト）			
学校等における 公演実績	沖縄歌舞劇団 美は、2001年より学校公演を開始、2022年までの22年間で636公演、約245,000人の児童・生徒にご鑑賞頂いております。 近年の実績は、下記の通りになります。 平成27年 1作品 30公演 9,484名 平成28年 1作品 30公演 10,379名 平成29年 2作品 64公演 20,059名 平成30年 1作品 38公演 12,479名 令和元年 2作品 62公演 22,221名 令和02年 2作品 20公演 8,975名 令和03年 4作品 24公演 8,779名 令和04年 4作品 20公演 8,081名（予定）			
特別支援学校等における公演実績	2009年 9月 名古屋市立南養護学校 2016年11月 大阪市立光陽特別支援学校 2017年10月 広島県立呉特別支援学校 2018年10月 高知県立高知若草養護学校 2022年 2月 沖縄県立宮古特別支援学校 2022年 2月 沖縄県立沖縄聾学校 2022年 2月 沖縄県立はなさき特別支援学校			
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有		
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/LT_HSj7T0Sg		
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	なし	
		PW:	なし	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人 沖縄歌舞劇団 美 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	琉球舞踊で物語「太陽の花」 ～ 沖縄の歌と踊りと太鼓で楽しく ～		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【演目】「太陽(ていーだ)の花」 1. オープニング [四つ竹/古典舞踊] 華やかな紅型衣装と花笠で歓迎の舞を踊ります。 2. 挨拶 劇団の紹介・沖縄と琉球・琉球舞踊と琉球音楽について簡単な説明をいたします。 3. 琉球舞踊で物語「太陽の花」 『冬』 出会い [加那コ一天川/雑踊り] 沖縄の冬は桜の季節 桜の咲く丘で出会う二人。 『春』 結婚式 [かぎやで風/古典祝儀舞踊] 祝儀舞踊 [武の舞/創作空手男踊り] 村人達からのお祝い舞 1年後 [沖縄の子守唄] 待望の赤ちゃんが生まれる 『夏』 お盆 [獅子舞] 地域の守り神の獅子は五穀豊穡と村に繁栄をもたらします。 [アングマー/八重山諸島伝統芸能] お面を被りご先祖様に扮したお爺とお婆と楽しくおしゃべり。 [エイサー/念仏踊り] ご先祖様を送り出す高揚感高まる太鼓舞踊(生徒共演演目) ～ 休憩10分 ～ (休憩なしも可能です) 4. 沖縄の歌のコーナー 生徒と一緒に体験できるお囃子や振り付けあり、沖縄の音階と独特のリズムが楽しめます。 5. 琉球舞踊で物語「太陽の花」 『秋』 収穫 [マミドーマ・稲しり節/雑踊り 農耕舞踊] 村人は皆で協力し、楽しく畑仕事をを行います。 豊作祭り [打ち晴りてい遊ば] 豊作祭り 逞しい琉球の人々の喜びの舞 6. エンディング [カチャーシー] 宴会や舞台の締めで踊る、沖縄でポピュラーな簡単な舞 (生徒全員で参加) 7. 感想・質問コーナー 【舞台監修】 新崎恵子 【演出振付】 小嶺和佳子 【音楽】 宜保和也  沖縄歌舞劇団 美 団長 小嶺和佳子 宮城流豊舞会 琉球舞踊師範 1998年 琉球古典芸能コンクール最高賞受賞(琉球舞踊部門) 2012年 国指定重要無形文化財琉球舞踊 伝承者認定 2015年 沖縄タイムス芸術選賞大賞受賞(演劇映像部門) 2020年 沖縄県指定無形文化財琉球歌劇 保持者認定 ※芥川賞作家 大城立裕作「通ざれ、結婚」出演 ※岸田國士戯曲賞作品 知念正真作「人類館」出演 ※沖縄国際映画祭作品「那覇 NAHA な・ふあ」にてガレッジセールの川田 さんと夫婦役で共演。その他の出演映画「ひまわり」「残渡」など。  音楽 宜保和也 琉球古典音楽 野村琉保存会 師範 2007年 沖縄県立芸術大学音楽学部 琉球芸能専攻卒業 2008年 第19回ラジオ沖縄主催新唄大賞 作曲賞受賞 2010年 沖縄タイムス芸術選賞琉球古典音楽グランプリ賞 2011年 アメリカ NY[BlueNote]ワンマンライブ開催 2014年 [X FACTOR OKINAWA JAPAN] 準優勝 2016年 琉球古典音楽野村琉保存会 師範免許取得 2019年 沖縄県指定 無形文化財 伝統音楽野村流 伝承者認定 休憩なしの場合(公演 70分) 公演時間 80 分		
	著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	【本作品テーマ】 琉球舞踊で物語「太陽の花」は、琉球王国時代の人々の暮らしを、沖縄の伝統文化である琉球舞踊と琉球音楽、各地に伝わる伝統芸能を組み合わせて表現した物語です。 【あらすじ】 琉球王国時代のある村のお話。桜の咲く丘で出会った男女が恋に落ち、春には村人に祝福され結婚。翌年には待望の赤ちゃんが生まれます。先祖への感謝を忘れぬ沖縄の人々は夏のお盆にはご先祖様を迎え、念仏踊りのエイサーで見送ります。秋の収穫に時期になると村人総出で、大変な農作業も楽しく歌いながら作業をします。沖縄の人々の陽気さが表現されています。豊作の祭りでは陽気に踊り楽しめます。 【本作品の特徴】 物語の途中に歌のコーナーを設け、民謡ではお囃子を子供達に参加してもらったり、沖縄の新しい歌では振り付けと一緒に踊ってもらいながら、沖縄独特の音階やリズムを体感してもらいます。 琉球舞踊は、琉球王朝を中心に発展した「古典舞踊」、庶民生活を表現した「雑踊り」、戦後生まれ発展する「創作舞踊」。音楽も「古典音楽」から「民謡」、そして新しい沖縄の音楽も取り入れ、沖縄を体験できる舞台です。		

演目選択理由	琉球舞踊で物語「太陽の花」は、伝統文化を古くて難しいと思っている子供達に、伝統芸能を物語にして表現することで、楽しく分かりやすい内容に集約した演目です。 琉球舞踊、沖縄の音楽、時代、風習などをタイムスリップしたように体感できます。 古いだけではなく、今現在も変化しながら続いている文化や芸能とはどんなものなのか、実際に体感できるように解説を入れながら楽しく学べるように工夫いたしました。 芸能の息づく島沖縄では、多くの子ども達が、小さな頃から日常的に伝統芸能や音楽に携わり、太鼓を叩き、三線の音色を聞き、祭事ある地域コミュニティで人間関係を学び、居場所を得ています。 沖縄では昔から「芸能が子どもたちの心と人生を豊かにする」といわれ、芸能を身近に肌で感じる機会がたくさんあります。 その中から子供達の興味ある演目を選抜し、分かりやすく表現した物語形式のこの演目は、日本全国の同じ年齢の子ども達が、自分の住んでいる地元の芸能に興味を持ち、文化を知ることにより、地域に溶け込むきっかけになり、地元地域での年代を超えた交流につながる期待を込め、演目を選択いたしました。							
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	沖縄の生きた伝統芸能・琉球音楽の共演を目指します。 1. 共演・参加・体験演目 1) アンガマーとおしゃべりコーナー(生徒全員) お面を被りご先祖様に扮したお爺とお婆と楽しいおしゃべり。 天国からいつも見ているよとお話をして「うちなーぐち(沖縄言葉)」を少し学びます。 2) 伝統芸能「エイサー」 太鼓グループによる太鼓演舞・チョンダラー役道化師の演舞(ワークショップ体験の生徒) 「お盆」の再現シーンでは、ワークショップを体験した子ども達を中心になって「エイサー」を踊ります。 実施校児童・生徒・先生方(約10～26名程度)にご出演頂き、三線の音色に合わせて、太鼓を打ち鳴らし、躍動と一体感を感じられる伝統芸能となっています。 エイサー共演生徒(衣装・道具の体験内容) * エイサーのハッピを身につける。(衛生管理上、使い捨てのハッピを使用) * 大太鼓・締め太鼓・パーランクー(小さな太鼓)を実際に持つ。 * チョンダラー役は、クパ扇(沖縄の民具:クパの葉の扇)を持って、エイサーを踊る児童の周りや会場を自由に練り歩き、会場を盛り上げます。 3) 歌のコーナー「民謡でハヤシ言葉(囃子)」 ハイヤ・イヤササ・ヒヤ等の沖縄独特のお囃子の練習(生徒全員) 一緒に歌ったり、新しい沖縄の歌では振り付けと一緒に楽しみます。 4) 「カチャーシー」 エンディングでは全員で踊る(簡単な手踊りのレクチャーあり) カチャーシーは自由に踊る踊りなので、初めての子ども達でも踊れます。(生徒全員)							
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 12 名 スタッフ: 5 名 合 計: 17 名		運搬		積載量: 2 t 車 長: 4.7 m 台 数: 1 台			
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	9時	9時～13時		13:30～14:50	10分	14:50～16:50	17時	
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月			
	22日	20日	22日	20日	21日			
	11月	12月	1月	計	162日			
	20日	19日	18日					
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。							
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			共演人数目安		10～26名(舞台上・前で演舞)応相談		
				鑑賞人数目安		(体育館収容可能人数対応)		

舞台サイド
機材設置 →

会場の大きさや
構造より設置場所
や機材の変更有り



舞台上・舞台前
機材設置例 →

舞台の大きさ
等により設置
場所の変更や
機材の変更有



公演に係るビジュアル
イメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。



A区分・B区分・C区分共通

No.3(実演芸術)

【公演団体名 一般社団法人 沖縄歌舞劇団 美 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	共演生徒の学年全員対応可能 *希望によって、複数の学年参加可
ワークショップ 実施形態及び内容	共演演目「エイサー(太鼓演舞)を踊ろう！」 時間:90分(2時限分)-休憩込- - 挨拶 - エイサーの説明(元々お盆の時期に先祖を見送る為の念仏踊りの説明) - 団員による「見本演舞」 - 各太鼓の紹介(太鼓の名称・音の違い・叩き方など) - 道化師役「チョンダラー」の説明 - 振り付けの練習 - 太鼓を持って練習(参加生徒が多数の場合は太鼓を交代しながら練習) - お囃子や掛け声の練習 - 共演生徒は担当の太鼓を持ち入退場の練習(本番立ち位置の確認) - 本番と同じように演舞。本番に共演する生徒以外はお囃子と手拍子で応援。 沖縄音楽の独特のリズムと音階を体験。 振り付けは子供たちにも分かりやすく、覚えやすい、繰り返しのある振付です。 はじめは、曲にのってすぐに踊ることが困難でも、繰り返すことにより踊れるようになります。 太鼓の響きは気持ちを躍動させ、楽しく体験できます。 エイサーは皆んなで息を合わせることが大切です。チョンダラーは列を整えたり、皆んなを盛り上げたり、観客に拍手のタイミングを伝えたりして、全員が一つにならないと完成しない演目です。伝統芸能でありながらチームワークの大切さを学べます。 また、見る側もお囃子や掛け声でエイサーを盛り上げ、観客も演者と一体になれる体験ができます。 「別添:ワークショップ参考資料」有り		
ワークショップの ねらい	エイサーは、お盆の最終日(旧暦7月15日)に行われる、「祖先をあの世へ送り出す」念仏踊りです。琉球舞踊と同じく古い歴史のある踊りです。 近年では、運動会の演舞にも取り入れられるほど有名になりましたが、祖先崇拝の強い沖縄では、お盆の大切な行事として大切にされています。踊りながら集落を練り歩く(道じゅねー)は、各家の無病息災や家内安全、繁栄を祈り、祖先の霊を供養する為に行われます。 この演舞を学ぶことによって、子供たちが祖先や両親への感謝の心を深めると同時に命を授かったことの大切さに気づいてほしい。また、生活の中に伝統芸能を取り入れ、喜怒哀楽を踊りの中に込めて、豊かな人間性や生きる力を育むための学びとなればと思います。 また、今、教育の現場ではダンスなどが必修となっていますが、楽しみながら体を動かし、感情を表現する言葉を越えたコミュニケーションなどへの気づきとなれば幸いです。 世界中にある太鼓、太鼓の響きは人種や世代を超えて人々の心を揺さぶります。子供たちにも本物の太鼓の響きを全身で感じてもらいたいと思います。		
その他ワークショップに 関する特記事項等	ワークショップが終わった後も練習できるように、練習用のDVDとCDをお渡しします。 (学校の希望があれば、ワークショップ実施前にDVDとCDをお送りすることも可能です。) 参考映像(練習用DVD):https://youtu.be/f6ii_zHHmdo		

リンク先	No.3	【公演団体名 一般社団法人 沖縄歌舞劇団 美 】
項目内容	【ワークショップ参考資料】 太鼓の種類  チョンダラー 観客を盛り上げる等、道化的な役割をしつつ、エイサーの隊列を整えたりします。奇抜で工夫されたメイクや滑稽な踊りは会場の笑いを誘い、注目のを浴びます。  大太鼓 三線の音をしっかりとらえる者が担う、エイサーの音頭取りの役割。演技中は全体の音がずれないようにリードしてもらいます。重量のある大太鼓を持つ体の大きさと体力も要求されますが、大太鼓の重鎮な響きがエイサーの壮大さを醸し出します。小学校高学年以上なら、女生徒、男子生徒の参加も可能です。  パーランクー（小太鼓） パーランクーは、エイサーの太鼓の中ではもっとも小さく、軽量である。軽快で乾いた音が特徴で「パランという音がする鼓」というのがその名の由来で高音の音が体育館に響きます。  締め太鼓 通常締め太鼓は演舞の華といえ、中型の太鼓でエイサーの主流となります。今回は比較的軽量の締め太鼓を用意するので、男女問わず使用することができます。	